

夏祭茅の輪祓の神事 八月六日に執行



立秋前夜の節分の日に、恒例の形代祓と茅の輪潜りの祓を行なうみそぎ祭夏祭の神事が、今年は八月六日の夕刻から執行された。境内には奉納された、八百七十の造り行灯が掲げられ、中央に櫓を儲けて盆踊り催され、社務所では池坊及即天門社中の生け花大会と裏千家社中の抹茶席が開かれ、境内を埋めた参拝者は、夜遅くまで日中の暑さを忘れて賑わった。

子供会の造行灯作業 社会活動の振興会会員参加



天神神社夏祭の呼び物造行灯の作成に、八月五日長良子供会七十六名が保護者三十八名と共に参加して、参集殿で奉仕した。行灯枠に持参の絵を張りつける作業に、神職振興会会員九名が参加し、行灯を仕上げると共に、子供と交流の遊戯を楽しみ、一緒に昼食を共にして、社会活動の一日を行なった。

この社会活動に参加した神職は次の通り

岐阜市	日吉神社	高橋雅彦
	八幡神社	若森正仁
	葛懸神社	川島英博
大垣市	八幡神社	中川幹彦
	御首神社	大島洋記
関市	八剣神社	安田英章
各務原市	村国真墨田神社	
山県市	手力雄神社	後藤正人
	十五社神社	浅野将伯
		加藤裕章



人形の浄霊祭

夏祭行事の一コマ

夏祭に行われる人形祓の行事に因んで、人形の浄霊祭が恒例行事として行なわれている。平素古びた人形が納められており、この日に忌火で浄霊し、焼納する神事である。

